

香川県森連時報

平成20年7月発行(年2回)



県森連第五十八回通常総会開催



去る五月三十日、本会二階会議室において、山本直樹香川県議会副議長議長(代理)、瀧本関雄香川県環境森林部長、西村秀雄香川森林管理事務所長、樋口浩良香川県木材協会会長、宮西信農林中央金高松支店長をはじめ多くの来賓の方々の臨席のもと第五十八回通常総会が開催された。

曾我部副会長が挨拶の中で、厳しい林業情勢が続く中、地球温暖化など森

林に対する期待は大きく、これに応えることが強く求められている。「京都議定書」による二酸化炭素吸収を確実に進めるため森林資源循環事業の推進に努めたいと決意を述べた。

十九年度では、間伐材の利用促進について県産材利用をかねて販路拡大、また指定管理者として満濃池森林公園の適正管理に努めた。さらに緑の雇用担い手対策事業については、中核的な林業

技術者の育成を目指し一定の成果を収めた。

二十年度では、特に間伐推進に努め、また指定管理者として満濃池森林公園の適正管理を図り、さらに森林整備を担う中核的な林業技術者の育成を目的に「緑の雇用担い手育成対策事業」を引き続き実施する計画であるので、会員各位、国、県、市町並びに関係者各位の絶大なるご理解とご協力、ご支援を願い、議案審議のご協力を依頼した。

続いて、ご来賓の方々からのご祝辞をいただき、その後、3名の表彰並びに1名の感謝状贈呈を次のおり行った。(敬称略)

◎優良役員

近石忠(仲南町森林組合)

◎優良職員

小山悦寛(仲南町森林組合)

◎優良作業班員

山口貞男(仲南町森林組合)

◎感謝状

井上和子(県森連)

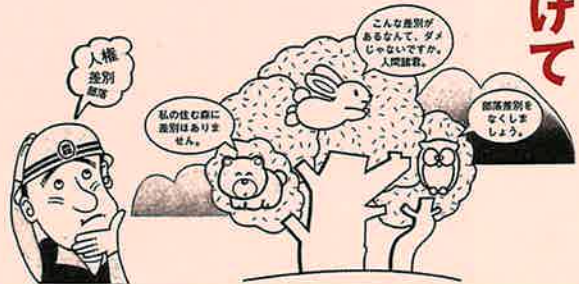
議事については、議長に藤嶋忠男塩江町森林組合長が選出され、提出十議案すべて可決承認された。

小豆島地区森林組合 合併協議

昨年十一月に再浮上した小豆島地区3森林組合合併について、理事会、総(代)会等に諮りながら2月、3月、5月、6月と研究・協議を重ね、合併検討会の設置が実現した。今後も慎重に協議、検討を重ね、推進協議会へ切替えて、小豆島地区森林組合の早期合併実現を目指している。

森林組合系統組織を挙げて 取り組もう人権問題

人権問題の取組に当たっては、女性、子ども、高齢者、障害者、同和問題、アイヌの人々、外国人、HIV感染者等、刑を終えて出所した人などへの偏見や差別を除去する等を内容とする国民行動計画の趣旨を踏まえ、それぞれの分野において自らの問題として積極的な役割の発揮に努めること。



人権問題の啓発推進に取り組むこととなる基本事項

林業雇用管理セミナー 開催



一月三十一日(木)香川労働局職業安定部職業対策課、古家月夫厚生労働事務官を講師に招き、県内林業事業者を対象に林業雇用管理のセミナーを行った。

森林組合担当者会 開催



一月三十一日(木)本会二階会議室に於いて、県下森林組合の担当職員を対象に、系統運動「環境と暮らしを支える森林・林業・山村再生運動」経過報告、経理研修、人権問題などの研修を行った。



平成20年5月19日より松くい虫薬剤防除(地上散布)業務(総面積108ha)を7月上旬まで実施し、期間中は薬剤の飛散防止等を図り、適正な薬剤散布作業を心がけた。

県下主要な松林の平成20年度松くい虫薬剤防除作業に着手

施行地	面積
高松室山国有林	35ha
栗林公園山林部	21ha
栗林公園平庭部	8ha
琴弾公園	19ha
琴林公園	9ha
丸亀市青の山	16ha
計	108ha



満濃池森林公園は、指定管理者制度導入から早や3年目に入りました。公園管理業務期間は、平成18年4月1日～平成23年3月31日と5年間である。1年目～2年目は、公園利用者が安心安全で快適に過ごすことを目標に、樹木

満濃池森林公園管理業務について

管理の徹底・園内の危険視角を無くするよう心がけ、施設内の修繕・トイレを含めた園内の清掃や蜂駆除の徹底等、管理面の強化を実施し、雑誌やホームページに公園の概要等を掲載し、野鳥や自然観察の実施にてサービスの向上に努めてまいりました。3年目の今年、平成20年7月1日に香川県が指定管理者制度導入後の管理運営状況の評価結果を公表しました。満濃池森林公園は、4段階評価で2番目のA評価でしたが、1番評価、Sの指定管理施設もありましたが、B評価・C評価の施設も出ている中、「A」の評価をいただけただけは、本会からの助言、公園管理事務所職員と管理作業員の努力からだと思っています。最後に、今年も節目の3年目でもあり、今回の評価以上になるよう管理事務所職員・管理作業員と協力し努力していきたいと思っています。

直島・本島の保育下刈作業に着手



平成20年6月16日より離島振興保育事業(下刈)を丸亀市本島町(29・43ha)、香川県直島町(18・6ha)で実施中で、工期は8月末であり、工期内作業完了・安全作業の遵守に取組み、作業の完了を遂行したい。目下、香川県森連においては、労働災害ゼロ運動を6月末時点で、530日達成中である。

化学肥料7月より1.7倍へ

肥料(新丸山特号)が食料・バイオ燃料の消費拡大に伴う肥料消費の拡大等により、昭和48年の第1次オイルショック40%を越える引上げ率となった。

また、オイル・鉄鋼関係の値上がりにより4月より顕在化し、系統購買では3月中旬値上がり予想してのチェーンオイルの販売促進キャンペーンを実施した。なお、チェーンオイルは約25%の値上がりをして

平成20年度後半高性能林業機械導入決定

平成20年度総会にて、今年度香川県森連では高性能林業機械2台の導入承認をうけ、平成20年度導入にむけ機種選定に着手した。

※スイングヤーダ(ダブルウインチ・グラブ装着) / 1台

※プロセッサ / 1台

本年度、高性能林業機械導入による「人と物」作りの促進による、低コスト化を図る。

コンサルタント室だより

コンサルタント室では、東部林業事務所より森林整備に関する測量設計業務を受注し、目下履行期限遵守を目標に鋭意努力しているところである。事業内容には保安林の公益性機能の高度発揮をはかるため指定された箇所において簡易山腹平面測量及び立木調査を実施し、本数調整伐における適正な伐採本数を把握するというものである。今年は例年より早く梅雨明けし、事業着手時から連日30度を超える日が続いているが、労災事故等に注意して事業完了を目指したいと思っている。

林業

